

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	第 6 回入間市地域公共交通協議会
開 催 日 時	平成 28 年 10 月 24 日 ( 月 ) 午前 10 時 00 分 開会・午後 12 時 00 分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 5 階全員会議室
議 長 氏 名	埼玉大学大学院理工学研究科環境科学・社会基盤部門 教授 久保田 尚
出席委員(者)氏名	別紙 1 のとおり
欠席委員(者)氏名	別紙 1 のとおり
説明者の職氏名	入間市 市民部 市民生活課 課長 齋藤忠士 " 主幹 藤田拓也 国際航業株式会社 社会インフラ部 グループ長 植木健一 " 主任技師 生田紀子
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	【公開】 別紙 2 のとおり
非 公 開 理 由	—
傍 聴 者 数	2 名
配 布 資 料	別紙 2 のとおり
事務局職員職氏名	入間市 市民部 市民生活課 課長 齋藤忠士 " 主幹 藤田拓也 " 副主幹 小林知子 " " 水村昌秋 " " 大野裕太
会議録作成方法	要点筆記

## 会議録(2)

### 議事の概要(経過)・決定事項

1. 開会
2. 会長・副会長挨拶
3. 議題
  - (1) 第5回協議会意見への対応
  - (2) ていーろーど乗降状況調査結果
  - (3) バス交通再整理方針(案)
  - (4) ていーろーど等評価指標(案)
  - (5) 『入間市地域公共交通網形成計画(案)』
  - (6) 第3回利用者分科会報告
  - (7) 交通事業者分科会の設立
  - (8) 今後のスケジュール(案)
4. その他
5. 閉会

会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
1. 開会	
2. 会長・副会長挨拶	
久保田会長	本日は公共交通網形成計画（案）を中心に議論をし、これを踏まえ市民の方々に公開することになっております。非常に重要なポイントになると思われれます。宜しくお願いします。
小嶋副会長	今後のスケジュールを踏まえると、今回は非常に大事な回になっていくと思われれます。宜しくお願いします。
3. 議題	
事務局	<p>(交通対策特別委員会行政視察報告書について)</p> <p>(委員の交代：後任委員の紹介)</p> <p>(資料-1 第5回協議会意見への対応)</p> <p>(資料-2 ていーろード乗降状況調査結果)</p> <p>(資料-3 バス交通再生整理方針(案))</p>
久保田会長	<p>資料-2 P.8「ていーろード利用 OD」南コースについて</p> <p>「宮寺・二本木地域」から「入間市役所」への OD が 5～8 人の矢線で標記されているが、元となっている OD 表にはそのような数値は見られない。</p> <p>いかがか</p>
事務局	宮寺・二本木地域にやまゆり荘の OD の数値を含んでいるため、5～8 人の矢線で標記している。
久保田会長	その標記の仕方に語弊があるため、修正すべきである。
事務局	承知した。
事務局	(資料-4 入間市地域公共交通網形成計画(案)評価指標について)
久保田会長	<p>資料-4 P.93 評価基準「運行経費」の設定について</p> <p>一人当たりの運行経費は市役所負担分のみで算出しているのか。また、それはていーろード全体の運行経費の何%か。</p>
事務局	市役所負担分のみで算出しており、ていーろード全体の運行経費の約 94%

発 言 者	発 言 内 容
田雑委員	<p>である。</p> <p>資料-4 P. 86 西武バス、ていーろーどとの再整理の図に関して</p>
事務局	<p>ていーろーどと同じようにワゴン化区間も北、南、東西と標記しているため、コース名を変えないと説明がわかりづらく混乱するのでは。</p>
事務局	<p>ワゴン化区間は現時点では名前がないため、便宜上、同じ名称とした。次回以降区別がつくように明記する。</p>
茂木委員	<p>2点意見がある。</p> <p>①資料-4 P. 92 評価基準「利用状況」の設定について</p> <p>見直し検討の評価基準が全体の平均値に対して、廃止検討基準は各コースに設定されているのは違和感がある。</p>
事務局	<p>②資料-4 P. 93 評価基準「運行経費」の設定について</p> <p>減価償却費の負担がない H27 年の一人当たりの運行経費を評価基準としているが、今後、バスを更新した際、減価償却費が掛かる可能性があるため、減価償却費を含めた運行経費を評価基準にするべきではないか。</p>
事務局	<p>①評価基準は委員の皆様にご本日議論していただきたい。</p> <p>②減価償却費は、運行経費の中に含めない考え方としている。</p>
茂木委員	<p>資料-4 P. 92 評価基準「利用状況」の設定について</p> <p>見直し検討評価基準の値より、北コースの廃止検討評価基準が高いためつじつまが合わないと思われる。コース別に廃止検討基準を設ける必要があるのか。</p>
事務局	<p>廃止検討基準を必ず設けないといけないわけではない。廃止検討基準を設定した意図としては、市民の方に積極的に乗っていただくという狙いがある。</p>
古屋委員	<p>資料-4 P. 92 評価基準「利用状況」の設定について</p> <p>見直し検討評価基準の値を高くした場合、パブリックコメントでハレーションが起こる可能性がある。導入時は基準を低くし、順調であれば徐々に高くするというやり方もある</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	検討する。
荒岡委員	資料-4 P. 93 評価基準「運行経費」の設定について 入間市の財政はこれから厳しくなると思われるが、全体の運行経費において市役所負担額 94%という数値を基準にしてよいのだろうか。
事務局	ていーろーどの利用料金を見直すことが考えられており、94%という数字ではなくなると思われる。だが、あくまで評価基準の目的は現状維持であるため、過去の実績を用いている。
古屋委員	パブリックコメントでは、その部分を重点的に示すことでハレーションが起る可能性が低くなると思われる。
事務局	ご助言ありがとうございます。
久保田会長	資料-4 P. 93 評価基準「運行経費」の設定について 現状の案で進めさせていただくがよろしいか。
一同	(了承)
久保田会長	資料-4 P. 92 評価基準「利用状況」の設定について 更なる議論が必要だと思われるが、いかがか。
山崎委員	基準を下回ったコースに対して、より効果的な路線を検討するということが見直し検討基準の目的ならば、見直し検討基準は各コースに定めるべきである。廃止検討基準はバス全体で設けるべきではないか。
久保田会長	茂木委員、いかがか。
茂木委員	山崎委員の言う通りである。また、現状の利用者数の平均値を廃止検討の評価基準に設定するのは不適切である。現状維持を目的とした見直しを検討する基準と廃止を検討する基準の数値では意味合いが違うと考える。
久保田会長	それでは、見直し検討評価基準を各コースに設定し、廃止検討基準を全体で1つにする。次にワゴン化区間について議論進めていく。
田中委員	2点意見がある。 ①資料-4 P. 94 ワゴン化区間について 具体的なルートが決まっていない中、評価指標を細かな数値で設定するの

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>はいかがなものか。</p> <p>②資料-4 公共交通網形成計画について</p> <p>P.88 に明記されている目標3に対する評価指標がない。また、入間市は ていーろーど以外にも健康福祉センター行きの公共バスがあり、それらを 網羅した公共交通網形成計画をもう一度考えるべきだ。</p> <p>①ワゴン化区間の具体的ルートは今後各地区の市民の方々と話し合っ て決めるが、最低限乗車してほしい人数という意味合いを含め、具体的な数 値を評価指標に設定している。</p> <p>②修正できる箇所については十分検討し、修正する。だが、目標3に関 しては、数値的目標が立てられないため、このまま進めていくことを考 えているが、いかがか。</p>
田中委員	<p>①再考をお願いしたい。具体化されていないルートに評価指標を設定 されても判断しかねる。</p> <p>②目標に対して指標を立てない限り、計画全体として成り立たないの ではないか。</p>
事務局	<p>公共交通網形成計画の時点で、新たな方策（ルート等）を打ち出した場 合でも、必ず定量的な指標が必要か。古屋委員にご教授願いたい。</p>
古屋委員	<p>公共交通網形成計画の審査等は関東運輸局本局が行うため、その担当 者に相談するのが望ましいと考える。具体的なルートが決まっていない区 間に対して、どのように目標立てる等の考え方等を用意しているかもし れない。</p>
事務局	<p>それでは、目標・評価指標の設定方法などに関して、運輸局にご相 談し、事務局で再検討いたします。</p>
久保田会長	<p>パブリックコメントが近い中、もう一度委員が集まる機会は設けられ ないため、事務局で再検討した内容は議員全員に郵送していただき、 意見を求める形でよろしいでしょうか。</p>
一同	<p>(了承)</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	(資料-4 入間市地域公共交通網形成計画(案)全体の流れについて)
芳賀委員	通勤・通学者を支援する内容を公共交通網形成計画に記載してほしい。また、都心にアクセスが良い箱根ヶ崎駅までのルート案を考えてもらいたい。
事務局	通勤・通学等は再編実施計画で検討する予定である。
竹井委員	健康福祉センター行きのバスの内容が公共交通網形成計画に含まれていないので、記載すべきである
事務局	承知した。
双木委員	(第3回利用者分科会報告)
事務局	(資料-5 入間市地域公共交通協議会分科会規定(案)) (入間市交通事業者分科会の設立)
久保田会長	西武ハイヤー(株)、西武バス(株)、丸大観光(株)、松葉交通(株)の4事業者で入間市交通事業分科会の設立をするが、よろしいか。
一同	(異議なし)
久保田会長	分科会長を西武ハイヤー(株)藤原委員にお願いしたいが、よろしいか。
藤原委員	承知した。
事務局	(第6回協議会の日程、今後のスケジュールについて) (元気なバス需要創出モデル事業について)
久保田会長	それでは、第6回協議会を閉会します。
5. 閉会	

発 言 者	発 言 内 容
議事の内容を末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
28年 12月 14日	
議 長 の 署 名	久保田 尚
議長が指名した者の署名	荒岡 真由美





## 別紙1

第6回入間市地域公共交通協議会委員					
	区分	機関名	職名	氏名	出欠
1	1号委員	西武鉄道㈱	鉄道計画課長	富田 恭史	○
2		西武バス㈱	取締役運輸計画部長	山内 智矢	○(代理)
3		西武ハイヤー㈱	業務部長	藤原 康之	○
4		丸大観光㈱	代表取締役	齋藤 栄作	○(代理)
5		松葉交通㈱	代表取締役社長	松原 緑	○
6	3号委員	国土交通省関東運輸局埼玉支局	首席運輸企画担当官	古屋 仁	○
7		国土交通省大宮国道事務所	副所長(技術)	相沢 興	×
8		埼玉県交通政策課	交通政策課 バス担当 主査	畦地 英樹	○
9		埼玉県飯能県土事務所	道路環境担当 部長	今井 祥晋	×
10		埼玉県警狭山警察署	交通課長	鈴木 孝彦	○(代理)
11	4号委員	公 募		荒岡 真由美	○
12		公 募		芳賀 隆夫	○
13	5号委員	埼玉大学大学院	理工学研究科 環境科学・社会基盤部門 教授	久保田 尚	○
14		埼玉大学大学院	理工学研究科 環境科学・社会基盤部門 助授	小嶋 文	○
15	6号委員	西武バス労働組合	執行委員長	小河 憲司	×
16	7号委員	豊岡地区区長会	扇町屋第2区副会長	久保 富美子	○
17		東金子地区区長会	東金子体育協会幹事	塚原 とみ子	○
18		金子地区区長会	金子地区区長会長	双木 茂芳	○
19		宮寺・二本木地区区長会	宮寺・二本木地区区長会長	細谷 秋雄	○
20		藤沢地区区長会	藤沢地区交通安全母の会会長	齋藤 勝子	○
21		西武地区区長会	西武地区第8区会長	茂木 保孝	○
22	8号委員	入間市	企画部長	田中 利之	○
23		入間市	環境経済部長	山崎 利明	○
24		入間市	市民部長	田 稚 弘 章	○
25		入間市	福祉部長	加藤 保夫	○
26		入間市	健康福祉センター所長	竹 井 仁	○
27		入間市	都市建設部長	高橋 健一	○



今、未来が始まるとき。

## 第 6 回 入間市地域公共交通協議会

日時：平成 28 年 10 月 24 日（月）10 時 00 分～12 時 00 分

場所：入間市役所 5 階全員協議会室

### 一 次 第 一

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 題

- (1) 第 5 回協議会意見への対応
- (2) ていーろード乗降状況調査結果
- (3) バス交通再整理方針（案）
- (4) ていーろード等評価指標（案）
- (5) 『入間市地域公共交通網形成計画（案）』
- (6) 第 3 回利用者分科会報告
- (7) 交通事業者分科会の設立
- (8) 今後のスケジュール（案）

4. その他

5. 閉 会

【配付資料】

- 資料－1 第 5 回協議会意見への対応
- 資料－2 ていーろード乗降状況調査結果
- 資料－3 バス交通再整理方針（案）
- 資料－4 入間市地域公共交通網形成計画（案）
- 資料－5 入間市地域公共交通協議会分科会規程（案）
- 資料－6 今後のスケジュール（案）

参考資料－1 第 5 回協議会議事録